

令和8年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 5校

令和7年10月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	帝京平成大学	共創学部 デジタル共創学科 (3年次編入学定員)	99 2	東京都豊島区	学校法人 帝京平成大学	○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○健康メディカル学部言語聴覚学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ○人文社会学部経営学科（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（帝京平成大学人文社会学部児童学科、健康メディカル学部言語聴覚学科） ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（帝京平成大学健康医療スポーツ学部理学療法学科） ○理事長が非常勤であり、他の職との兼務が多いため、機動的な意思決定ができる体制の構築に努めること。 ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 助言事項	令和8年4月名称変更予定 人文社会学部 児童学科 → 教育学科 ・「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」に基づく特定地域内学部収容定員増抑制の除外規定の適用による特例
1							

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	昭和女子大学	総合情報学部 データサイエンス学科 デジタルイノベーション学科	60 50	東京都世田谷区	学校法人 昭和女子大学	○DP6に対応するCP9の「昭和ポストンでの各種留学プログラム」について、本学の他学部・他学科の学生や、他大学の学生も受講可とすることにより、DP6に掲げる「組織内で異なる役割の人と協働できる」に資する計画であることを学生が十分に理解することができるよう、オリエンテーション等において適切に周知すること。（総合情報学部データサイエンス学科）	遵守事項 人間文化学部 歴史文化学科〔定員減〕 (△10) グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科〔定員減〕 (△10) 食健康科学部 食安全マネジメント学科〔定員減〕 (△10) ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校 〔廃止〕 (△80)
						○DP6に対応するCP9の「昭和ポストンでの各種留学プログラム」について、本学の他学部・他学科の学生や、他大学の学生も受講可とすることにより、DP6に掲げる「組織内の各部署とコミュニケーションをとり、デジタル技術を活用してそれぞれのニーズに応えた全体最適を考え行動できる」に資する計画であることを学生が十分に理解することができるよう、オリエンテーション等において適切に周知すること。（総合情報学部デジタルイノベーション学科）	遵守事項 ・「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」に基づく特定地域内学部収容定員増抑制の除外規定の適用による特例
						○本学科の設置に関する内容について、学生が適切に理解できるよう、適切な文言による資料等を用いて、分かりやすい周知に努めること。（総合情報学部データサイエンス学科）	遵守事項
						○授業科目「数学基礎」について、リメディアル教育としての機能は「あくまで期待できる副次的な効果」であり、「高校数学から専門数学への橋渡し」という位置付けの科目であることを、学生が十分に理解した上で履修することができるよう、シラバスの記載内容の見直し等を含め、学生に対して十分に説明すること。（総合情報学部データサイエンス学科、デジタルイノベーション学科）	遵守事項
						○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。（総合情報学部データサイエンス学科、デジタルイノベーション学科）	遵守事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
私立	(昭和女子大学)					○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。（総合情報学部データサイエンス学科、デジタルイノベーション学科） ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。（総合情報学部デジタルイノベーション学科） ○審査の過程において、提出書類の不備が見受けられ、今後新たな組織を設置すること等も踏まえると、一層の体制の強化が必要であると考えられることから、事務処理を適切に行うための事務組織の積極的な見直しを検討すること。 ○長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、新設組織に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどして、戦略的な学生募集活動に取り組むとともに、学生確保の実態を踏まえ、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。	遵守事項 遵守事項 助言事項 遵守事項	
2								

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	武蔵野大学	通信教育部 国際データサイエンス学部 データサイエンス学科 (通信教育課程) (3年次編入学定員) (4年次編入学定員)	32 15 10	東京都江東区	学校法人 武蔵野大学	○安定的・継続的な授業の実施や学生の個人情報の管理等のために、情報セキュリティの定期的な検証や必要な改善・充実を図ることにより、通信教育課程の適切な運営に努めること。 ○ダブル・ディグリー・プログラムについて、協定校との適切な単位互換が行えるよう、本学の教育課程との互換性を十分に検討し、適切に運用すること。 ○今後、時差が大きく、同時双方向型授業の開講時間帯調整では対応できない地域の学生を受け入れる場合は、同時双方向型授業によって身に付けさせたい教育効果を十分担保できる教育方法によって代替することや、時差対応における教員及び学生双方の負担を考慮した教育環境を整備することに努めることが望ましい。 また、日本人学生と外国人学生が混在する場合、学生同士のグループワークにおける共通言語は英語とし、英語力に不安のある学生については、Web会議システムの同時字幕翻訳を補助的に利用しながら行う計画であるが、同時字幕翻訳が適切に機能し、十分な教育効果が得られているかを検証し、必要に応じて言語環境の改善に努めることが望ましい。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目について、当該授業科目の教員配置計画を明らかにした上で、基幹教員が当該授業科目を担当する場合には教員資格審査（AC教員審査）を受審すること。なお、基幹教員以外が当該授業科目を担当する場合には、その妥当性について設置計画履行状況報告書において説明すること。 ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（武蔵野大学工学部環境システム学科） ○教学監査については、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、充実に努めること。	遵守事項 遵守事項 助言事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
3	(武蔵野大学)					○財務書類等の公表（ホームページへの掲載）に当たり、財務情報等に関するわかりやすい説明の掲載など、計画を着実に実行し、充実に努めること。	助言事項
私立	花園大学	教育学部 初等教育学科	80	京都府京都市	学校法人 花園学園	○補正申請書類において、「基本計画書」に「授業科目の概要」が添付されていなかったため、設置認可後に提出する設置認可申請書類の公表用資料において、適切に改めること。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態で継続していることから、収支均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率） ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（花園大学文学部仏教学科） ○学生等の募集を停止予定の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（花園大学社会福祉学部児童福祉学科） ○財務書類等の公表（ホームページへの掲載）に当たり、財務情報等に関するわかりやすい説明の掲載など、計画を着実に実行し、充実に努めること。	遵守事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
4	(花園大学)					○学校法人全体の経営状況が悪化傾向にあることを踏まえ、大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について着実に実行するとともに、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。	遵守事項
5	私立 桃山学院大学	工学部 工学科	160	大阪府和泉市	学校法人 桃山学院	○授業科目「統計学基礎」について、推測統計を学ぶ上で必要となる記述統計に関する内容を充実させるとともに、授業内容に関する理解が十分ではない学生に対するフォローアップを充実させることが望ましい。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○会議の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。【理事会及び評議員会の開催順序（令和6年度決算、令和6年度監事の監査報告）】 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率）	助言事項

(注) 「備考」欄の() 書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

2 学部の学科を設置するもの 3校

令和7年10月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	高崎健康福祉大学	人間発達学部 心理学科	40	群馬県高崎市	学校法人 高崎健康福祉大学	○入学志願者が、本学科が学生受入れ時に求める具体的な素養を適切に理解し準備できるよう、アドミッション・ポリシーや「学んできてほしい内容」として掲げている内容と、入学者選抜で課す科目との関係性を志願者に分かりやすく具体的に周知するなど、周知方法を工夫することが望ましい。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○健康福祉学部社会福祉学科の収容定員超過の是正に努めること。 ○保健医療学部理学療法学科の収容定員超過の是正に努めること。	助言事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
1	(高崎健康福祉大学)					○完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率） ○財務書類等の公表（ホームページへの掲載）について、わかりやすい説明の明確化と充実に努めること。 ○内部監査や教学監査を含む監事監査について、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、着実な実施と充実に努めること。 ○大幅な定員未充足が生じた場合の対応方針（リスクシナリオ）について、新設組織の定員未充足が継続した場合のシミュレーションはされているものの、「学校法人としての経営改善に係る対応策」について、対応を講じる主体やその具体的な方法等が十分に考慮されていないように見受けられることから、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、必要に応じて対応方針や財務計画の見直しを図ること。 ○審査の過程において、提出書類の不備が見受けられたことから、法人として事務処理を適切に行うため、事務組織の一層の強化に努めること。	助言事項 助言事項 助言事項 遵守事項 助言事項 助言事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
私立	人間総合科学大学	人間科学部 心身健康科学科	40	埼玉県さいたま市	学校法人 早稲田医療学園	○履修モデルにおける「本履修モデルで取得ができる資格」という表記について、別途国家試験等が必要である資格についても履修モデルに含まれる授業科目を履修するだけで資格を取得できるものと誤認する懸念があるため、資格取得を目指す学生等に対して、国家試験受験の要否等を含め、資格ごとに必要な手続を具体的に説明するとともに、適切に履修指導を行うこと。 また、学校説明会や入学後のオリエンテーション等で入学希望者又は学生に対して本学科で取得可能な資格について説明する際にも、資格ごとに必要な本学科の教育課程の履修により直ちに取得可能な国家資格や受験資格を有するものではなく、本学科での学びを基礎として取得を目指すものであることを明確に説明すること。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえ適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○人間科学部健康栄養科学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ○人間科学部ヘルスフードサイエンス学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ○人間科学部心身健康科学科（通信教育課程）の収容定員未充足の是正に努めること。	遵守事項 保健医療学部 看護学科〔定員減〕 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〔定員減〕 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項	(△30) (△10)

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
2	(人間総合科学大学)					○遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。 ○学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人の平均値に比べ低いことから、学生生徒等納付金の学生への還元に取り組むこと。 ○開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（人間総合科学大学人間科学部ヘルスフードサイエンス学科） ○前回に引き続き、登記が遅延して行われたことから、今後は、特段の事情のない限り、所定の期日までに行うこと。（代表権登記） ○前年度に引き続き、財務書類等の備付けが遅延して行われたことから、今後は、特段の事情のない限り、所定の期日までに行うこと。 ○理事会の実出席率が低いことから、今後の改善方策について着実に実行すること。	助言事項 助言事項 助言事項 遵守事項 助言事項 助言事項 助言事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
私立	梅花女子大学	文化表現学部 舞台芸術表現学科	40	大阪府茨木市	学校法人 梅花学園	○本学に拠点を置く梅花歌劇団「劇団この花」の実績等を教育課程上の授業に活用する計画だが、「劇団この花」での活動そのものが単位修得に繋（つ）がると学生や社会一般に誤解を与えないよう、「劇団この花」の活動はあくまで課外活動としての位置付けであることを明確に説明すること。 ○産官学連携プロジェクトについて、これまでの「劇団この花」の実績等に基づき、学生は授業の他に課外活動が求められる計画だが、正課の教育課程を学修する時間を十分に確保できるように配慮するなど、学生の過度な負担とならないように適切な運用に努めること。 ○補正申請書類として提出された「設置の趣旨等を記載した書類（資料）」について、必要な資料が十分に添付されていないように見受けられるため、設置認可後に提出する設置認可申請書類の公表用資料において、適切に改めること。 ○本学科の教育理念の中心に据える「アート思考」については「芸術的想像力」であるとの説明がなされたが、例えば「想像」や「創造」という用語の使い分けなどに留意し、学生や社会一般に趣旨が正しく伝わるよう、分かりやすい周知に努めることが望ましい。 ○本学科の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシー）の関連性について、学生が適切に理解できるよう、「舞台芸術表現学科の学びの全体像」及び「3つのポリシーの関係」に関する資料（図）の改善等も含め、分かりやすい周知に努めることが望ましい。 ○本学科の中心的な学問分野について、非常に多岐にわたる領域を学ぶ学問分野であることを学生が適切に理解できるよう、分かりやすい周知に努めることが望ましい。 ○学生が本学科の教育課程の体系性を適切に理解した上で学修することができるよう、各科目の履修区分（「必修」、「選択」及び「自由」）の位置付けを明確に説明するなど、分かりやすい履修指導に努めることが望ましい。	遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 助言事項 助言事項 助言事項	食文化学部 食文化学科〔定員減〕（△10） 看護保健学部 看護学科〔定員減〕（△10） 口腔保健学科〔定員減〕（△20） 令和8年4月名称変更予定 文化表現学部 国際英語学科 → 国際教養学科

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
	(梅花女子大学)					○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。 ○文化表現学部日本文化学科の収容定員超過の是正に努めること。 ○文化表現学部情報メディア学科の収容定員超過の是正に努めること。 ○看護保健学部看護学科の収容定員超過の是正に努めること。 ○文化表現学部国際英語学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ○完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財務計画の策定・実行に取り組むこと。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（経常収支差額比率、繰越収支差額構成比率）	遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 助言事項 助言事項	

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考	
3	(梅花女子大学)					○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（梅花女子大学文化表現学部国際英語学科、心理こども学部こども教育学科） ○内部監査や教学監査を含む監事監査について、監査計画に監査項目や実施体制等を盛り込んだ上で実施する等、着実な実施と充実に努めること。 ○長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、新設組織に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどして、戦略的な学生募集活動に取り組むこと。また、既設組織で定員未充足の状態が生じていることや学校法人全体の経営状況が悪化傾向にあることから、学生確保の実態を踏まえ、法人運営や教育研究等へ与える顕在的・潜在的なリスクの把握、分析を不断に行い、財務計画の見直しや学生確保の取組の改善を機動的に行える態勢を整えること。	遵守事項 遵守事項 遵守事項	
計	3 校	3学部3学科						

（注） 「備考」欄の（ ）書の数字は、今回の認可申請に伴う関係のある既設学部等の入学定員の減を示す。

3 学部における通信教育課程を開設するもの 1校

令和7年10月

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
私立	環太平洋大学	経済経営学部 現代経営学科 (通信教育課程) (3年次編入学定員)	300 100	岡山県岡山市	学校法人 創志学園	○安定的・継続的な授業の実施や学生の個人情報の管理等のために、情報セキュリティの定期的な検証や必要な改善・充実を図ることにより、通信教育課程の適切な運営に努めること。 また、特定の時間を指定して行うLMSの電子掲示板を用いたディスカッションやZoomのブレイクアウトルームによるグループワークは、履修者全員の都合を調整するのに困難が伴うことが予想されることから、履修機会を確保できるよう柔軟な対応を工夫すること。 ○教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。 ○完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編製の将来構想について着実に実施すること。 ○体育学部競技スポーツ科学科の収容定員超過の是正に努めること。 ○次世代教育学部こども発達学科の収容定員未充足の是正に努めること。 ○経済経営学部現代経営学科の収容定員未充足の是正に努めること。	遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項 遵守事項

区分	大 学 等 名	学部・学科等名	入 学 定 員 (人)	位 置	設 置 者	附 帯 事 項	備 考
1	(環太平洋大学)					○遠隔地に所在する設置校があることから、監事を支援する組織と監事との連携等により、監事による監査の体制の充実に努めること。 ○財務状況に関する比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保に取り組むこと。（繰越収支差額構成比率） ○開設年度前年度以降に借入を予定しているため、負債について計画どおり償還し、負債の減少に努めること。 ○既設組織の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の不断の改善に努めること。（環太平洋大学次世代教育学部こども発達学科、経済経営学部現代経営学科） ○学生等の募集を停止中の組織については、適切な時期に廃止等の措置を講ずること。（東京経営短期大学経営総合学科、こども教育学科、成女高等学校、成女学園中学校） 助言事項 助言事項 助言事項 遵守事項 遵守事項	
計	1 校	1学部1学科					